



熊野小学校合唱クラブ

昨年はコロナ禍で、部活動の自粛を余儀なくされました。そのような中で、例年のない困難を乗り越え、合唱の甲子園と言われる「NHK全国学校音楽コンクール」全国大会に出場し、小学生の部で銅賞に輝いた熊野小学校の合唱クラブを紹介します。

熊野小学校の クリスタルな歌声 を全国へ

歌に心を込めて

熊野小学校の体育館に、透き通った歌声が響きます。体でリズムを取りながら、のびのびと歌うのは、合唱クラブの皆さんです。3年生から6年生までの58人が、放課後、発声練習はもちろん、歌詞のイメージを大切にしながら、心のこもった歌を歌う練習をしています。

熊野小学校に合唱クラブができたのは今から12年前。現在は顧問として指導されている永島和子先生が設立しました。始まりの挨拶から準備運

動、発声練習まで部長、副部長を中心に動きます。レクリエーションや振り付けなどの係活動もあります。

いつもと違う環境の中で

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、思うように練習できなかったそうです。「最初の頃は、マスクをつけるのが難しく、時々マスクが下がってきて、練習に集中できないことがありました。また、周りの人と距離を取った練習は、横の人の声が聞こえにくく、音をしっかりとることや、ハーモニーを合わせることが難しかったです。」部長の茂山礼奈さんは、こう振り返ります。「練習自体ができなかったり、人数が制限されたりと厳しい時期がありました。が、少人数ならではの細やかな指導ができたと思います。でも、一番大きな力となったのは、子どもたちの素直で前向きに頑張る姿勢でした」と中村真奈美先生。

これまで、NHK全国学校音楽コンクール(Nコン)の全国大会に熊野小学校は2回出



▲グループに分かれて、良いところを言い合うなど、お互いを高めながら練習をしています。



「新年の誓い」



▶夏休みの練習。感動を届けるために、夏休みや始業前、放課後にも練習を重ねてきました。



◀指導する中村先生。「合唱を通して、人への思いやり、根気良さ、積極性など心の面でも成長してもらいたいと思います。そのことが、生きる力の源になると思っています」

▶東京都「府中の森芸術劇場」にて。みんなで気合を入れます。全国大会参加校11校の中での銅賞でした。



「銅賞と聞いて、びっくりした気持ちと、うれしい気持ちが出ませんでした。後輩たちには、来年も良い歌が歌えるように頑張って、今度はNコンの大舞台で金賞を取ってほしいです」と、茂山さんはここに

やかに話してくれました。
歌で感謝を返したい
中村先生にこれからの目標を伺いました。「銅賞という夢のようなプレゼントをいただき、保護者や地域の皆さんも喜んでくださり、本当によかったと思っています。子どもたちには、全国大会で学んだことを生かして、これからも頑張ってください。そして、これまで応援してくださった皆さんの方々への感謝の気持ちを子どもたちの歌でお返してきたらと思います」
熊野小学校のクリスタルな歌声とともに感動がどんどん広がっていきます。

Editor's note 編集後記

■黒川選手を一言で表すと「自然体」でしょうか。彼を知ってしまうと、放っておけない、つい応援したくなる。そんな存在です。宮村
■おととしは勝山小学校がNコン全国大会で銅賞。下関の合唱のレベルの高さに驚きます。熊野小のみなさん、キラキラしていました！廣野
■似顔絵師・遠藤さんは「芸術」を積み重ねた人生を歩んでいます。市報にも遠藤さんの作品が掲載されていることはご存じ？西村